
Fontane **世界の泉**

架羅馭璃 千佳

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Fontane 世界の泉

【Nコード】

N8226Y

【作者名】

架羅駆璃 千佳

【あらすじ】

12人の異界人は500年後に目覚め、人間と契約をすべく人間界へ舞い降りる。契約を交わした異界人らが呪われていることを知り、人間は解く方法を調べる。解く方法は解ったが、代償として契約者の命を異界人に捧げるといふ驚愕の事実を知る。それぞれの契約者は泉を探す。自分たちが犠牲となるか、異界人を犠牲にするか迷う。異界人全員の呪いが解かれる。そして契約者の人間たちの運命は

！！

序章 呪われた異界人

世界は「人間界」「天界」「地界」「異界」の4つに分けることができる。その中の地界に住む妖精4人とエルフ5人と異界に住む悪魔3人が世界の長おほに呼ばれた。

「お前たちは何故なにゆえ呼ばれた解っているか」

長の低くしわがれた声が王宮に響く。長はどの世界にも属さない。つまりは『無』ということ。

「はい。解っております」

大きな羽根をもつ妖精の1人が言った。長はその妖精を鋭い目付きで見遣った。

「…。そうか。では問う。マリス、お前は何故ここへ呼ばれたか」
マルスよ呼ばれた妖精の女の子は少し顔を曇らせた。

「私は…。みんなを止められなかった…」

「ああ、お前は地界の長というのにみんなを止めきれなかった。終いにはなんだ？ 『私がすべての責任をとる！？ 地界も落ちこぼれたもんだな』」

長はため息をついた。跪ひざまづいて顔を下げている12人のうち、1人がバツと顔を上げた。

「ん？なんだね？」

そうか！エルフも地界だったな。

落ちこぼれの地界のピエール」

ピエールは人間の男とそう変わりはない恰好^{かっこう}。しかし、エルフという種族は耳が長い生き物。

「地界は落ちこぼれじゃない！！」

ピエールは大声をあげて言った。

「ほう。ピエール、この私に楯突^{たてつ}こうというのかい！？なかなかの度胸と見える」

ピエールの額に一筋の汗が流れた。

「俺は確かに落ちこぼれかもしれん。しかし、だからといって地界は落ちこぼれじゃない！！撤回してもらおうか。長！！」

長も額に血管が浮かびあがった。それを見ていたもう1人のエルフが言いだした。

「もうやめなよ」

「五月蠅い！！故郷をバカにされて黙っていられるかよ！メタルだつて言いたいことくらいあんだろ」

「そつ…」

メタルは言い返す言葉が見つからず黙ってしまった。

「よかるっ…」

長はゆっくりと玉座から腰をあげた。

「これ以上話しても無駄だということがよく分かった。それ相応の罰を与えんとす！」

長は両手を上に勢いよく上げた。

その瞬間、12人の姿が跡形もなく消え去った。その代わりに、さつきまで12人がいた場所にピアスやネックレス、ブレスレットなどのアクセサリーがある。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8226y/>

Fontane 世界の泉

2011年11月24日15時47分発行